

令和2年度 学校関係者評価委員会 議事録

【日時】令和2年7月29日（水）10：30～11：00

【場所】こころ医療福祉専門学校壱岐校

【委員】壱岐市社会福祉協議会副会長 品川 洋毅

壱岐市立老人ホーム所長 吉田 博之

社会福祉法人博愛会特別養護老人ホームハッピーヒルズ（幸せの丘）

施設長 永田 信弘

【事務局】中野 勝，田島 百合子，川口 進一郎，藤 玲子

【総評】社会貢献活動を地域住民の目に触れる形で実施し、広報に活かすオープンキャンパス以外に学校生活の様子を直接発信する媒体が必要。

（1）教育活動

中野：鍛えて育てる・能力を導き出すことを根幹に教育活動を行っている。

介護福祉士国家試験は日本人受験者6中5名合格。

留学生は模擬試験の点数が徐々に上がり、国家試験でも一定の点数を取ることができたが合格には届かなかった。今年度は現時点までの模擬試験で好成績を残す者が複数名おり、留学生の合格者が出る可能性がある。

（2）卒業生

平成30年度卒業生のうち、卒業年度国家試験不合格だった日本人卒業生の1名が介護福祉士国家試験合格。

吉田委員：卒業後ではあるが学校に報告したか心配していた。働きながら合格でき、安心した。

永田委員：昨年度卒業しハッピーヒルズに入職した留学生は真面目に働いている。日本語で不自由する場面は多いようだが、文書にしてフリガナをふってやればそこから意味を調べて理解できている様子が見受けられる。夜勤ができるようになれば正職員にしたいと考えている。一日も早く正職員になれるよう施設でも教育・サポートに力を入れている。

中野：学校として就職後は真摯に職務に向き合うよう教育したつもりだが、気持ちがあっても要領が良くなかったり、適切な行動をとれずにご迷惑をおかけする者もいるのではないかと危惧している。

しかし気持ちは誠実な卒業生ばかりなので一人前の介護職員として社会に貢献できるよう、卒業後も学び続けてほしいと考えている。施設でのご指導の賜物でそれぞれが着実に成長していることに感謝申し上げます。今後とも一層のご指導を賜りたい。

(2) オープンキャンパス・広報活動

中野：壱岐市ケーブルテレビに電話で取材を依頼したが回答がなかったので市の回覧板を利用させていただいた。

吉田委員：壱岐市ケーブルテレビの経営法人が変更になり、体制が変わったことで取材自体が減ったと耳にする。

直接の交渉が難しければ壱岐市保険課を通じて依頼することも可能。行政を有効に活用してほしい。

授業風景や学生からのメッセージが一番印象に残る。学生が楽しそうにしている様子を放送できるのが効果的だと思う。

(3) 国家試験経過措置

国家試験の合格率向上に向けて教職員・学生が一丸となって一生懸命頑張っている。現在の2年生は入試の面接の時点から国家試験への意識付けを行った。それほど重点を置いているが最終的には教員の指導と学生の意欲にかかっている。特に学生本人が意欲をもって国家試験対策に取り組むことが大変重要。

吉田委員：国家試験の経過措置が延長になったが、昨年度の国家試験不合格者は無期限の資格を得ているのか？

田島：経過措置では国家試験未受験者・不合格者は5年限定の介護福祉士資格が得られ、その期間中介護福祉士としての業務に従事することで無期限の介護福祉士資格が得られる。

中野：この制度を利用して留学生が介護福祉士として業務に従事できることは、留学生本人・介護従事者が不足している現在の日本社会にとって大変ありがたいことだが、日本語でのコミュニケーションが十分とれない学生が国家資格を得て良いのかというジレンマを抱えている。国家資格を得て業務に従事する以上、相応の能力を身に付ける義務が生じる。送り出す側が十分に教育を行わなければならないと常に感じている。

田島：介護福祉士の資格を得ると取得可能な在留資格「介護」での日本在留の条件は技能実習生と比較すると格段に良い。家族にも在留資格が与えられるし、在留期間の更新も可能。それだけ社会から期待されている役割、責任が重いということだと認識している。それを学生本人が自覚し、真摯に学ぶ環境を構築していきたい。

(4) 留学生の安心・安全

中野：留学生の病院受診が非常に多い。歯科、壱岐病院等。送迎、引率等で職員が付きっきりになる。

病気を治療しに来日したのかと思うほど。全員対応しているが本人の健康管理意識が低いことも関係しているように感じる。健康管理ができるように意識付けできればと思っている。

永田委員：母国の習慣で健康管理の意識がないのではないか。

吉田委員：健康保険の問題で母国では受診できないものが多いのでは。日本のように皆保険制度が実施されている国は限られている。

永田委員：送迎サービスを利用してはどうか。

中野：授業開始時間との兼ね合いで送迎サービスの利用が難しい。また、学生だけでは症状の説明や経過報告、服薬等の指導への対応が困難なため、教職員が同行する必要がある。

自分の身に置き換えて考えると、言葉の通じない海外で留学生のようにたくましく生活していけるかと考えると難しい。日本に来て学ぶという意欲だけでも素晴らしいものだと感嘆している。逆に日本人学生が留学生の生きる力から学び、頑張らなければいけないと感じている。頼るものの少ない外国での生活で、安心して健康的な生活が営めるよう、日本での生活習慣、常識、健康管理の指導を強化したい。

(5) 退学防止対策

中野：平成30年度入学生が1年次に1名退学した。

引き受けた学生は100%卒業させるつもりで教育を行っているが本人の進路変更の希望が非常に強く、その意思を尊重する形となった。

今後も入学時から学生の意欲、生活態度等に常に目を配り、必要に応じて適切な支援を行うことで退学を防止し、入学した全員が卒業できる学校づくりを目指している。

(6) 社会貢献活動

中野：これまで運動会等の地域行事に積極的に参加してきた。今年度も状況が許せば参加したいと考えている。

例年実施している地域清掃ボランティアは11月11日の介護の日を目途に継続して実施できるよう企画している。

実習指導者講習会・国家試験模擬試験講習会等地域の介護職従事者向けの講習会は今年度も実施を予定している。昨年度の経験を活かし、事前に市内各施設と日程調整を行ってから開催案内を発出する予定である。

吉田委員：地域ボランティアとして独自の取り組み以外に地域で実施している湾岸清掃に参加するのはどうだろうか。既存のボランティア活動に参加すれば学校ぐるみで社会奉仕を行っていることが多くの人目にとまる。また、漂着ごみを目の当たりにすることで国際的な廃プラスチック問題への意識改革にもなるのでぜひ参加してほしい。

品川委員：夏休み前、6月末から7月前半にかけて、商工会等が主体となって行われている。地域住民も学生と交流する機会が増えることを願っている。是非参加していただきたい。

毎年中学生ボランティアが参加していたが、今年度は感染症流行の影響で実施できなかった。来年度以降参加を検討してはどうだろうか。

川口：毎年地域の介護職従事者向けに国家試験対策講座・実習指導者講習会を実施しており、今年度も実施したいと考えている。

また、実務者研修についても現在準備を進めている。

それ以外にも研修会について開催希望等の要望があればぜひお問い合わせいただきたい。今後実施できるものは積極的に対応し、学生だけでなく壱岐市内の介護従事者に学びの機会を提供していきたいと考えている。

基準1 教育理念・目的・育成人材像

番号	点検項目	評価
1	理念・目的・育成人材像は定められている。	○
2	学校の特色として挙げられるものがある。	○
3	学校の将来構想を描き，3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いている。	○

基準2 学校運営

番号	点検項目	評価
1	学校運営方針は明確に定められ，きちんと教職員に明示され，伝わっているか，また，それを基にした各種諸規程が整備されている。	○
2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており，学校は事業計画に沿って運営されている。	○
3	運営組織や意思決定機能は，効率的なものになっている。	○
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されている。	○
5	意思決定システムは確立されている。	○
6	情報システム化等による業務の効率化が図られている。	○

基準3 教育活動

番号	点検項目	評価
1	各学科の教育目標，育成人材像は，その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。	○
2	各学科の教育目標，育成人材像を構成する知識，技術，人間性等は，業界の人材ニーズレベルに照らして，学科の教育期間を勘案して，到達することが可能なレベルとして，明確に定められている。	○
3	カリキュラムは体系的に編成されている。	○
4	学科の各科目は，カリキュラムの中で適正な位置付けをされている。	○
5	授業評価の実施・評価体制はある。	○
6	育成目標に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保している。	○

7	成績評価・単位認定の基準は明確になっている。	○
8	資格取得の指導体制はある。	○

基準4 教育成果

番号	点検項目	評価
1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られている。	○
2	資格取得率の向上が図られている。	○
3	退学率の低減が図られている。	○

基準5 生徒支援

番号	点検項目	評価
1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能している。	○
2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能している。	○
3	生徒の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能している。	○
4	生徒の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能している。	○
5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能している。	○
6	学生寮等，生徒の生活環境への支援は行なわれている。	○
7	保護者と適切に連携している。	○
8	卒業生への支援体制がある。	○

基準6 教育環境

番号	点検項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されている。	○
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している。	○
3	防災に対する体制は整備されている。	○

基準7 生徒の募集と受け入れ

番号	点検項目	評価
1	生徒募集活動は、適正に行なわれている。	○
2	生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられている。	○
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている。	○
4	学納金は妥当なものとなっている。	○

基準8 財務

番号	点検項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。	○
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	○
3	財務について会計監査が適正に行なわれている。	○
4	財務情報公開の体制整備はできている。	○

基準 9 法令等の遵守

番号	点検項目	評価
1	法令，設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	○
2	個人情報に関し，その保護のための対策がとられている。	○
3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている。	○
4	自己点検・自己評価結果を公表している。	○

基準 10 社会貢献

番号	点検項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっている。	○
2	生徒のボランティア活動を奨励，支援している。	○

意見

社会貢献活動について、学校独自の活動も大いに評価できるが、既存の地区ボランティア等に参加することで地域の方に学校の取り組みを知っていただくことができるのでぜひ検討してほしい。また、ボランティアをきっかけに環境問題に興味を持ち、地域の取り組みを知る機会になることを願う。

学生募集に壱岐市ケーブルテレビ等様々な媒体を活用し、多くの市民に本校に興味をもっていただく必要がある。学校からの取材依頼が通らない場合は行政が協力できる部分があるので相談してほしい。

教育理念どおりの学校運営がなされていると感じる。

令和元年度の国家試験合格率についても日本人の 83.3%は高く評価できる。今後の留学生の国家試験合格に期待している。